

明るく楽しく、社員に慕われた「副長」

(株)ごんきや取締役副社長 故 佐藤 みや子氏 享年94歳

㈱ごんきや（塩釜市、佐藤知樹社長）の取締役副社長、故・佐藤みや子氏の葬儀が5月12日、塩釜市のセレモニア塩釜 楠会館で執り行われた。

故人は1926年、塩釜町（現、塩釜市）で、ごんきや5代目謙吾氏の長女として生まれた。44年宮城県第二女子高等学校（現、宮城県仙台二華中学校・高等学校）を卒業後、6代目仁治郎氏と結婚。67年には㈱ごんきや商店の専務取締役、78年取締役副社長に就任した。菩提寺や神社、地域への貢献を忘れず、社員を



愛し、お客さまや会社に尽くした。社員からは「副長」と呼ばれ慕われていた。

葬儀の冒頭、佐藤知樹社長（8代目）が「故人は明るく楽しく、にぎやかなことが大好きでしたので、多くの皆さまに見送られることを故人も喜んでいると思います。残された私たちご

んきやグループ一同は、故人から得た多くの学びを胸に、地域、社会、お客さまに尽くしてまいります」とあいさつ。

葬儀では、佐藤昭塩釜市長が弔辞を奉読した。また、社員を代表して小野寺恵美さんと、孫を代表してひ孫の佐藤蓮樹さんがそれぞれお別れの言葉を述べた。続いて、焼香が行われ、業界



佐藤仁一郎会長



佐藤知樹社長

関係者や故人と親交のあった約1500人が故人との最後の別れを行った。

最後に、喪主の佐藤仁一郎会長（7代目）が「故人の生前中は、皆さまに大変お世話になりました。残された私たち遺族に対して、故人生前同様にお付き合いいただきますようお願い申し上げます」とお礼の言葉を述べた。